

厚生労働大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野	受賞者名 武田薬品工業株式会社 光工場 EHS 室
	取組の実践場所 山口県光市
	受賞テーマ 国内初の PTP 包装廃材の材料リサイクルで廃棄物の資源循環（再資源化）を推進

受賞者は、2023年6月から国内初の産業廃棄物「PTP 廃材」による「Recycle」を開始した。PTP (press through pack) とは医薬品を包装するシートで、錠剤やカプセルをプラスチックとアルミニウムで挟むことで、医薬品が大気に触れることを防ぎ、吸湿、紫外線等による変質を防ぐなど、医薬品の品質を保つ非常に重要な役割を果たしている。

一方でプラスチックとアルミニウムが接着しているため、分別廃棄・再利用することができず、同工場ではサーマルリカバリー（焼却した上で、焼却時の熱エネルギーの回収および残渣の再利用を行うこと）を実施していたが、焼却はCO₂排出を回避できない処理方法であり、燃やさない処理方法を模索していた。

2022年4月にプラスチック資源循環促進法が施行されたことを機に、同工場から排出されるプラスチック類 産業廃棄物のうち、約半分を占める「PTP 廃材」の環境負荷低減対策を検討し、2023年6月に導入した。

本取組は産業廃棄物の処理方法として「製薬会社で、国内で初めて燃やさないリサイクル方法「分離：材料リサイクル」(※)の導入」になる。また、輸送においては鉄道を利用したモーダルシフトを採用し、CO₂排出量の削減にも貢献している。

※ 新技術「分離」(委託会社設備)の概要：専用装置に PTP 廃材を投入し、燃焼はせずに攪拌と摩擦によりプラスチックとアルミニウムを分離する。この装置は電力稼働であるが、100%再生可能エネルギーを利用している。

「Recycle 資源循環」のみならず環境負荷低減を図るとともに、その効果を業界全体や社内でグローバルに拡大すべく積極的な事例共有と普及促進に取り組んでいる。

